岩手県立埋蔵文化財センター所報（No. 132）
平成 27 年 6 月 30 日　発行

わらびて

132号

主な内容

■特集
平成 27 年度の調査
復興調査のピークに心強い味方！
～出向調査員～

■平成 26 年度に市町村等が行った
県内発掘調査のまとめ

■イベントのお知らせ
体験教室、埋蔵文化財展
埋蔵文化財公開講座、遺跡報告会

■人事動向

力を合わせて迅速な発掘調査を！

（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターでは、復興関連の発掘調査面積が昨年度より増加しています。今年度も引き続き最盛期を迎えている復興調査に対応するため、県外からの出向調査員などで人員を増強して、早期復興を後押しします。

（4頁に関連記事）

【所報名について】「わらびて」は**蕨手刀（わらびてとう）**に由来しています。蕨手刀は、奈良～平安時代初期に使われた鉄製の刀で柄頭が早蕨（さわらび）の芽を巻いた状態に似ていることからこう呼ばれます。群集墳などから出土し、東北地方、特に岩手県で多く出土しています。

写真：調査が進む宮古市の根井沢穴田Ⅳ遺跡

特集 平成27年度の調査

復興調査のピークに心強い味方！

出向調査員の紹介

東日本大震災から４年が経ち、復興が急がれる沿岸地域。各地で行われる大規模な復興公共事業に伴い、工事前の確認・発掘調査も昨年度から山場が続いています。この状況に今年度も県教育委員会や岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターでは、新規採用した調査員や復帰したOB調査員、ここで紹介する他県から応援に駆け付けた派遣・出向調査員と力を合わせ、一日も早い復興のため調査を進めています。

岩手県教育委員会では、三陸国道等復興関連事業の埋蔵文化財確認調査に加えて沿岸市町村教育委員会の調査支援も行っています。大槌町の赤浜Ⅱ遺跡と赤浜Ⅲ遺跡はじめ、山田町の関谷Ⅳ遺跡、長崎Ⅰ遺跡や長崎Ⅱ遺跡などについて、発掘・試掘調査を支援する予定です。これらの調査に対応するため、山田町に派遣した１名を含む県職員９名と派遣職員８名の、計17名体制で調査に取り組んでいます。

文化振興事業団埋蔵文化財センターでは三陸沿岸道路など復興道路整備、集団移転促進事業関連などで36遺跡、17万７千724㎡の発掘掘調査を行う予定です。これは、平成26年度よりも約２千211㎡の増加で、36遺跡のうち33遺跡、面積にして15万６千518㎡（約９割）が復興関連の調査です。

昨年度から続く膨大な発掘調査を受け、８名の新人調査員を採用、また昨年度から６名のＯＢ調査員が復帰しました。さらに他県の調査機関より応援として調査員５名の派遣を受けましたが、その中には２年目３年目という方もいて、多忙を極める復興調査の心強い味方となっています。

成果が期待される調査予定遺跡としては、宮古市田鎖車堂前・田鎖遺跡があげられます。昨年度に12世紀の鎧の小札や中国産の白磁が出土しましたが、奥州藤原氏との関係が深いと考えられています。また、平安時代に製鉄を行ったとみられる遺構と集落が発見された宮古市の荷竹日向Ⅰ遺跡・荷竹日影Ⅱ遺跡や、大槌町田屋遺跡、山田町間木戸Ⅰ遺跡などでは、沿岸地域における製鉄の歴史解明につながる発見が期待されます。

市町村教育委員会も含めた平成27年度の調査成果については、次号（平成28年２月末発行）で詳しく紹介する予定です。

①…派遣元　②…専門　③…ひとこと（自己紹介・興味あること・岩手の印象など）

伊藤 武 いとう たけし　文化振興事業団埋文センター

❶（公財）大阪府文化財センター　副主査（勤続19年）
❷ 仏教彫刻など寺院に関わるものに興味あり。考古学も少々
❸ 派遣も２年目になります。昨年度はいろいろな面で、大阪では味わえない貴重な体験をさせていただきました。特に発掘調査では、最近任せることが多かった様々な作業を自分自身ですることにより、忘れかけていた大事なものを思い出すこともできました。昨年１年間でこちらの状況もある程度わかってまいりましたので、その経験を生かし、今年も精一杯頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

特集 平成27年度の調査

①…派遣元　②…専門　③…ひとこと（自己紹介・興味あること・岩手の印象など）

河本 純一 かわもと じゅんいち

文化振興事業団埋文センター

❶（公財）大阪府文化財センター　技師（勤続４年）
❷ 縄文時代　土器胎土
❸ 岩手県へ赴任して２年目となりました。昨年度は様々な面で大阪との違いに戸惑いながらも、皆様に助けていただき無事に１年を過ごすことができました。また１年こちらでお世話になることとなりましたので、復興調査を頑張りながら、休日には県内各地の史跡や観光地を見て回りたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

佐藤 剛 さとう つよし

文化振興事業団埋文センター

❶（公財）北海道埋蔵文化財センター　主査（勤続 19 年）
❷ 続縄文・擦文時代の社会
❸ 派遣３年目になりました。 昨年度は初年度に調査した間木戸Ⅰ・Ⅴ遺跡の報告書が出版され、あっという間の２年間でした。
沿岸部の復興は目に見えて進んでいますが、いまだ仮設住宅で生活している方がいるなど、まだまだこれからという状況です。復興調査の原点をもう一度考え、新たな気持ちで現場に向き合いたいと思います。今年は派遣の最終年度となりますので、このまま健康で無事に業務を遂行できればと思っています。

高橋 工 たかはし たくみ

文化振興事業団埋文センター

❶（公財）大阪市博物館協会大阪文化財研究所　研究主幹（勤続 27 年）
❷ 日本考古学（特に古墳時代の武器武具からみた東アジアの国際交流
日本における都城制の成立と展開）
❸ 震災復興のため、微力ながらお手伝いできればと思ってまいりました。
岩手については、中・高生の頃、石川啄木、宮沢賢治、井上ひさしの本を読み耽り、憧れのような感情を抱いておりました。赴任が実現し、以来、一ヶ月あまりを過ごしましたが、豊かな自然、山海の幸、おおらかな気風を日々感じています。これからも、岩手の遺跡、博物館、温泉、グルメ等々、岩手を味わい尽くしてみたいと思っています。

宮内 勝巳 みやうち かつみ

文化振興事業団埋文センター

❶（公財）千葉県教育振興財団　主任上席文化財主事（２年目　（財）東総文化財センター等通算 31 年）
❷ 律令期の土師器と須恵器の変遷と編年を真面目にやっています。
❸ 10 数年前から自分の不勉強を痛感し、５世紀代以降の須恵器を再実測しながら、11 世紀までの土器編年を夢見ています。
岩手県埋文センターにお世話になり、早いもので１年余り経ちました。この間、職員の方々には大変お世話になり感謝しています。日々、関わる埋蔵文化財の調査が復興の一助になることを信じつつ、過ごしたいと思います。

特集 平成27年度の調査

①…派遣元　②…専門　③…ひとこと（自己紹介・興味あること・岩手の印象など）

赤井 文人 あかい ふみと

岩手県教育委員会

❶ 北海道教育委員会　文化財・博物館課　主任（勤続２年）
❷ 旧石器時代（日本列島の細石刃石器群について興味を持っています）
❸ 埼玉県出身です。いくつかの土地で考古学に関わり、昨年度まで北海道の埋蔵文化財行政に携わっていました。４月、岩手県教育委員会の皆さんに暖かく迎えていただき、調査で訪れる内陸・沿岸部の多様な景観に驚かされ、また、地元の美味しい日本酒・料理に感動しています。復興を少しでも加速させられるよう、微力ではありますが、一所懸命仕事をしたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

新海 和広 しんかい かずひろ

岩手県教育委員会

❶ 秋田県教育庁　生涯学習課文化財保護室　文化財主査（勤続 13 年）
❷ 考古学（縄文時代　土器・集落の変遷）
❸ 出身は福島で、秋田には就職を機に参りました。派遣元では、発掘調査や埋蔵文化財に係る調整業務等に従事してきました。岩手県の皆様はとても親切で、和やかな日々を過ごさせていただいております。外食で意外だったのは、大盛りの店が多いこと。食べ過ぎには注意したいです。微力ではありますが、岩手の復興のお手伝いができるようがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

岩名 建太郎 いわな けんたろう

岩手県教育委員会

❶ 静岡県教育委員会事務局文化財保護課　主査（勤続 18 年）
❷ 考古学（歴史時代の経済活動に利用される交換財の流通、使用、収蔵形態）
❸ 静岡では県東部、富士山の南東側に位置する三島市に在住しておりました。現在、居を構えている盛岡市内から岩手山を望む風景には、強い親近感を覚えます。静岡県を含む、本州南、四国、九州の太平洋沿岸部は、近い将来に南海トラフ巨大地震が発生する可能性が高いとされています。今、私が立っている場所は、将来の静岡にほかなりません。岩手、そして全国の皆さまと一緒に文化財を守る仕事をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

小竹森 直子 こたけもり なおこ

岩手県教育委員会

❶ 滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　副主幹（勤続 31 年）
❷ 考古学（主に弥生土器を通して「近江とは？地域とは？」を考えています。それと、城郭の石垣）
❸ 大洞式・大洞系の縄文土器は、滋賀県でも馴染みがありますが、東北における近江商人の拠点が盛岡だとは、岩手に来るまで知りませんでした。弥生前期の土器も、折衷土器として興味を惹かれます。陸奥と近江の交流の証をより多く見つけられたらと、思っています。1 年間、よろしくお願いします。

①…派遣元　②…専門　③…ひとこと（自己紹介・興味あること・岩手の印象など）

特集 平成27年度の調査

篠宮 正 しのみや　まさし

岩手県教育委員会

❶ 兵庫県立考古博物館　担当課長補佐（勤続 29.5 年）
❷ 日本考古学（弥生時代・古墳時代）、文化財全般
❸ 信州出身です。東日本大震災の半年前に碁石海岸に泊まり、大船渡や陸前高田の海岸線の美しさが目に焼きついていました。４月当初の被災地の視察で、復興途中の変わり果てた姿に驚きました。微力ながら復興のため頑張りたいと思います。また、自然環境と人間との調和について考えて行きたいと思います。

友岡 信彦 ともおか　のぶひこ

岩手県教育委員会

❶ 大分県教育庁埋蔵文化財センター　課長補佐（勤続 27 年）
（前職 大分県立博物館 企画普及課長）
❷ 考古学（古墳～古代）
❸ 大分県から参りました友岡です。３月まで２年間発掘とは無縁の博物館に勤務していました。岩手県に呼んでいただき、久しぶりに発掘調査ができるうれしさに感謝しています。赴任して２ヶ月程が経ちましたが、すっかり岩手の生活に溶け込んでしまいました。これも心優しい岩手県のみなさまのおかげだと思います。今後は、岩手県の被災者の皆さんが少しでも早く以前の生活を取り戻されるように、微力ですが一生懸命お手伝いをさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

上床 真 うわとこ まこと

岩手県教育委員会

❶ 鹿児島県立埋蔵文化財センター　文化財主事（勤続 18 年）
❷ 古代～近世（遺構・遺物，地形変化などに興味があります）
❸ 今年度で派遣２年目を迎えます。この１年間で，岩手の大きさ・懐の深さを実感することができました。今後はさらに奥深いところまで知りたいと思っています。この１年，また新たな気持ちで復興のお役に立てるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

具志堅 清大 ぐしけん せいた

岩手県教育委員会

❶ 沖縄県立埋蔵文化財センター　調査班　専門員（勤続３年）
❷ 考古学（沖縄貝塚時代後期）
❸ 沖縄県出身です。派遣元では主に基地関係（米海軍病院移設）の調査・報告書に携わってきました。沖縄では見ることができない雄大な山や川、自然の美しさ、美味しい料理（酒）に日々感動しています。微力ではありますが、復興のため頑張りたいと思います。１年間よろしくお願いします。

平成 26 年度に市町村等が行った県内発掘調査のまとめ

復興関連調査や史跡内容確認調査など

――市町村教育委員会等の調査――

平成 26 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査は右頁に示したとおりです。多くは住宅建築をはじめとする民間開発事業や市町村公共事業に関連した事前調査ですが、東日本大震災からの復興事業に関する調査や震災復興支援のため、県事業であっても市で発掘調査をした遺跡も含まれています。また、現状保存された史跡の内容確認調査も行われています。

縄文、弥生時代

宮古市の津軽石大森遺跡では、復興事業に伴う発掘調査が行われ、縄文時代前期の竪穴住居跡が約 80 棟、古代の竪穴住居跡も 40 棟が見つかるなど、複数の時代に集落が営まれたことがわかりました。花巻市の小瀬川Ⅰ遺跡では、昨年度に引き続き県営ほ場整備事業に伴う発掘調査が行われ、竪穴住居跡のほか、土偶をはじめとする遺物が多数出土し縄文時代中期の集落跡であることがわかりました。陸前高田市の堂の前貝塚では、復興関連事業に伴う発掘調査が行われ、多くの竪穴住居跡や大型掘立柱建物跡が見つかったほか、土偶、石棒など多くの遺物が出土しました。雫石町の小日谷地ⅠＢ遺跡では、町事業に伴う発掘調査が行われ、多くの竪穴住居跡や土坑等が見つかったほか、ヒスイと見られる原石が竪穴住居から出土しました。軽米町では、千本松遺跡の保存目的の内容確認調査が行われました。

古　代

縄文時代の貝塚で有名な大船渡市の宮野貝塚では、住宅建築に伴う発掘調査が行われ、平安時代の竪穴住居跡が見つかりました。同じく、長谷寺遺跡では奈良時代と平安時代の竪穴住居跡が見つかりました。盛岡市の細谷地遺跡では区画整理事業に伴う発掘調査が行われ、奈良・平安時代の竪穴住居跡が多く見つかったほか、土師器・須恵器の遺物も多く出土しました。同じく赤袋遺跡では住宅建築に伴う発掘調査が行われ、平安時代の竪穴住居跡等が見つかりました。矢巾町の国史跡徳丹城跡では、外郭南門北側の内容確認調査が行われ、区画溝と考えられる遺構が見つかったことから、城内道路の位置がわかりました。北上市の立花南遺跡では住宅建築に伴う発掘調査が行われ、１辺が６ｍを越える大型の竪穴住居跡が見つかりました。同じく、本宿遺跡では奈良時代の竪穴住居跡が見つかりました。

中　近　世

北上市の黒岩城跡では住宅建設に伴う発掘調査が行われ、中近世の屋敷跡が見つかったほか、陶磁器や椀などの木器が出土しました。奥州市の白鳥舘遺跡では内容確認調査が行われ、道路状遺構や区画溝が見つかったほか、中国産及び国産陶磁器やかわらけが出土しました。同じく大日前遺跡では、県営ほ場整備事業に伴う発掘調査が行われ、掘立柱建物跡や方形周溝が複数見つかったほか、12 世紀のかわらけ、国産陶器や木簡が出土しました。二戸市の在府小路遺跡では、住宅建築に伴う発掘調査が行われ、竪穴状遺構２棟が検出されました。一関市の骨寺村荘園遺跡の内容確認調査が行われました。平泉町の特別史跡無量光院跡では、復元整備に向けた内容確認調査が行われました。軽米町の赤石沢遺跡では町道改良工事に伴う発掘調査が行われ、製鉄炉跡などが見つかりました。陸前高田市の吉田家住宅跡地では、復興事業に伴い内容確認調査が行われました。

（岩手県教育委員会 生涯学習文化課）

市町村教育委員会が行った発掘調査

■時代の略…　縄＝縄文、弥＝弥生、古＝古墳、奈＝奈良、平＝平安、中＝中世、近＝近世　　■教委…　教育委員会

番号	遺跡名	所在地	調査主体	時代	種別
1	新開地遺跡	山田町	山田町教委	縄	集落跡
2	志羅山遺跡	平泉町	平泉町教委	平	その他(屋敷地)
3	長谷堂貝塚群	大船渡市	大船渡市教委	縄・弥	集落跡・貝塚
4	津軽石大森遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	散布地
5	向新田Ⅲ遺跡	宮古市	宮古市教委	縄・弥	散布地
6	柿木平遺跡	二戸市	二戸市教委	縄・奈・平	散布地・集落跡
7	宿田南遺跡	盛岡市	盛岡市教委	平・中・近	集落跡・城館跡
8	前小路遺跡	二戸市	二戸市教委	平	集落跡
9	小瀬川Ⅰ遺跡	花巻市	花巻市教委	縄・平	集落跡
10	長谷寺遺跡	大船渡市	大船渡市教委	縄・平	散布地・社寺跡
11	和井内清水遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	散布地
12	三ノ丸遺跡	二戸市	二戸市教委	中・近	城館跡(屋敷跡)
13	細谷地遺跡	盛岡市	盛岡市教委	奈・平	集落跡
14	平沢Ⅰ遺跡	久慈市	久慈市教委	縄・弥・奈・平・近	集落跡
15	新井田遺跡	平泉町	平泉町教委	平	散布地
16	在府小路遺跡	二戸市	二戸市教委	縄・中・近	散布地・城館跡
17	沼Ⅰ遺跡	軽米町	軽米町教委	縄	散布地
18	立花南遺跡	北上市	北上市教委	縄・弥・奈・平	集落跡
19	折壁館跡	宮古市	宮古市教委	中	城館跡
20	小日谷地ⅠB遺跡	雫石町	雫石町教委	縄	集落跡
21	上平５遺跡	軽米町	軽米町教委	縄	散布地
22	在府小路遺跡	二戸市	二戸市教委	縄・奈・平	集落跡・城館跡
23	伽羅之御所跡	平泉町	平泉町教委	平	その他（居館）
24	赤前Ⅲ遺跡	宮古市	宮古市教委	縄・平	集落跡
25	愛宕下Ⅱ遺跡	陸前高田市	陸前高田市教委	奈・平	散布地
26	里館遺跡	盛岡市	盛岡市教委	中・近	城館跡
27	大谷地Ⅰ遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	散布地
28	和野Ⅰ遺跡	田野畑村	田野畑村教委	縄	集落跡
29	宮野貝塚	大船渡市	大船渡市教委	縄・弥・平	貝塚
30	黒岩城跡	北上市	北上市教委	縄・平・中	散布地・城館跡
31	赤石沢遺跡	軽米町	軽米町教委	近	生産遺跡
32	崎山遺跡	宮古市	宮古市教委	縄・弥・古・奈・平	集落跡・貝塚
33	年呂部Ⅱ遺跡	田野畑村	田野畑村教委	縄	散布地
34	金鶏山遺跡	平泉町	平泉町教委	平	その他の遺跡(経塚)
35	跡呂井館(岩渕館)遺跡	奥州市	奥州市教委	奈・平・中	城館跡
36	中里遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	集落跡
37	平田遺跡	釜石市	釜石市教委	縄・弥	散布地
38	千鶏Ⅲ遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	集落跡
39	赤袈遺跡	盛岡市	盛岡市教委	平	集落跡
40	本宿遺跡	北上市	北上市教委	縄・弥・奈・平	集落跡
41	刈屋清水野遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	集落跡
42	蛇ヶ崎城(谷地館)跡	陸前高田市	陸前高田市教委	中	城館跡
43	千本松遺跡	軽米町	軽米町教委	縄・奈・平	集落跡
44	天台寺跡	二戸市	二戸市教委	縄・奈・平	社寺跡
45	砂沢山Ⅰ遺跡	久慈市	久慈市教委	弥	散布地
46	砂沢山Ⅱ遺跡	久慈市	久慈市教委	縄	その他（猟場）
47	雲南遺跡	陸前高田市	陸前高田市教委	縄	集落跡
48	白鳥舘遺跡	奥州市	奥州市教委	平・中	城館跡
49	上里遺跡	二戸市	二戸市教委	縄・中	集落跡・城館跡
50	小出Ⅰ遺跡	大船渡市	大船渡市教委	縄	散布地
51	久保遺跡	花巻市	花巻市教委	縄・奈	散布地
52	久保沢遺跡	釜石市	釜石市教委	縄	散布地
53	金浜館遺跡	宮古市	宮古市教委	縄・中	城館跡
54	吉田家住宅跡地	陸前高田市	陸前高田市教委	近	その他（県指定文化財吉田家住宅跡地）
55	越田松長根Ⅰ遺跡	宮古市	宮古市育委	縄	散布地

北上市の黒岩城跡（写真：北上市埋蔵文化財センター）

平成27年度 イベントのお知らせ

一般向け

体験教室 本物の土器や発掘道具に触れられるチャンス！ 夏休み！みんなで考古学者2015

出土品の展示や土器立体パズルに発掘・測量体験など、楽しい内容がいっぱい。遺跡や出土品について専門家がわかりやすく教えてくれるから、夏休みの自由研究にもおすすめです。「ミニ考古学者認定証」を手に入れよう。

■期日：平成27年7月29日（水）～30日（木）
9時～16時（最終受付15時まで）

■場所：岩手県立埋蔵文化財センター

いつも大人気！ 本物の土器の立体パズルに、みんな夢中です

考古学や岩手の遺跡を知るきっかけに 埋蔵文化財公開講座・遺跡報告会

公開講座は、考古学や関連分野の興味深いテーマについて、第一線の研究者などを招いて講演を行います。遺跡報告会は、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが調査を行った遺跡の解説をします。

■期日：平成28年2月6日（土）

■場所：岩手県民会館中ホール

人事動向（平成27年4月1日付）

岩手県立埋蔵文化財センター

●転　入

副所長 ／ 斎藤 邦雄
（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 首席文化財専門員兼調査課長

文化財調査員 ／ 長屋敷 淳史 盛岡市立巻堀中学校教諭

●転　出

（公財）岩手県文化振興事業団事務局長 ／ 佐々木 一成 副所長

普代村立普代中学校 副校長 ／ 晴山 雅光 文化財専門員

（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

●転　入

首席文化財専門員兼調査課長 ／ 鎌田 勉
岩手県立博物館学芸第三課長

●昇　任

主幹兼課長補佐 ／ 金子 佐知子

●転　出

生涯学習文化課文化財課長 ／ 斎藤 邦雄
首席文化財専門員兼調査課長

平成27年度 岩手県文化振興事業団プレゼンツ 文化・芸術が集うとき in 九戸村 第36回 埋蔵文化財展

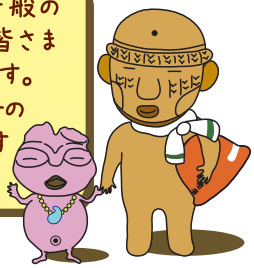
当センターが調査した九戸村の出土品を中心に、九戸村と周辺地域の遺跡について展示や解説を予定しています。「九戸村産業・芸術文化まつり」と連携し、岩手県立博物館・美術館、岩手県民会館によるイベントも。

■期日：平成27年10月30日（金）～11月1日（日）

■場所：九戸郡九戸村公民館

昨年度は野田村で開催。連日、多くの見学者でにぎわいました

紹介のイベントはすべて、一般の方向けで入場は無料です。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細が決まり次第、当センターのホームページ、博物館等に掲示するポスターでお知らせいたします。



発　行　岩手県立埋蔵文化財センター
編　集　（公財）岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター
〒020-0853　岩手県盛岡市下飯岡 11-185
電　話　019-638-9001
U R L　http://www.iwate-maibun.jp/
E-mail　i-maibun@echna.ne.jp
発行日　平成27年6月30日
印　刷　河北印刷株式会社